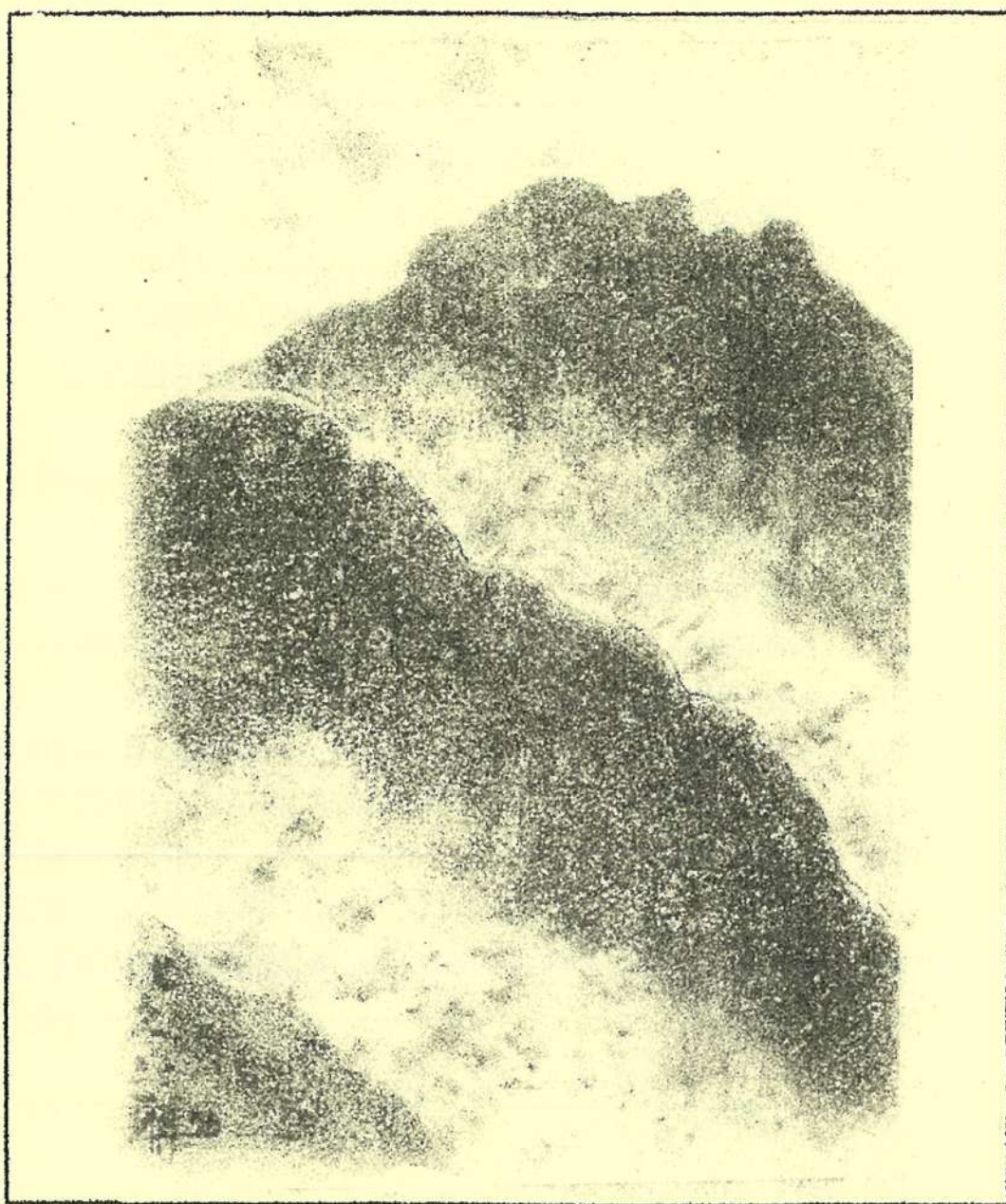


扣之帳

ひかえのちょう



八十八号

扣之帳 (ひかえのちょう 通巻第88号)

2026年2月号

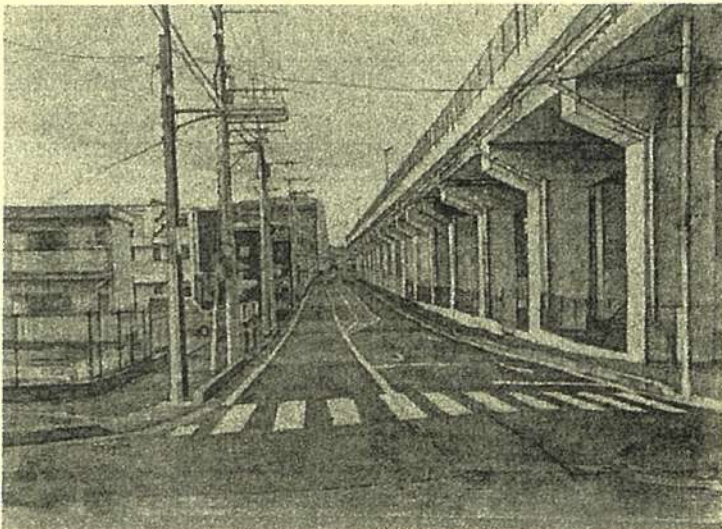
●目次●

◇表紙 佐藤北久山

◇カット 木下泰徳

北条氏滅亡後に江戸城とその城下を 築いた小田原の先人たち		
＝その足跡をたどる＝ (上)	田代道彌	2
詩 日本橋界限	加藤三朗	18
相州大住郡片岡村の仕法	尾上 武	19
小説 一幕末銀板写真倶楽部		
ポトゲラヒ (完)	荒河 純	26
小説 熱海っ子物語	太田正二	39
小説 回想のかけら	露木昭美	61
裏山散歩 (6)	井上敬雄	70
日々の指導活動 (一)	石川和彦	79
エッセイ 学園徒然草	御守明慶	83
奈良の滝坂道を歩く	青木良一	96
三百文字の宇宙 掌編十話	芳賀喜久雄	104
鉄斎の謎 (十四)	茂木光春	111
「小田原の文学発掘」拾い読み (3)	岸 達志	158
尾上武『扣之帳』掲載		167
編集後記		168





扣之帳 第八十八号 五百円

二〇二六年二月二十六日発行

発行所

扣之帳刊行会

編集人

青木 良一